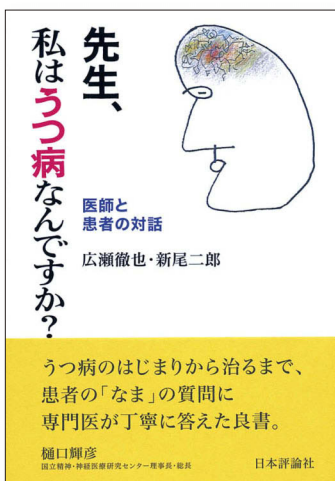




先生、私はうつ病なんですか？

医師と患者の対話

広瀬徹也、新尾二郎＝著

定価 1944 円（本体 1800 円＋税 8％）

日本評論社

☎ 03-3987-8598

1 か月の入院含め、10 年間のうつによる闘病経験があり、かつ精神科関連の書籍を編集してきた編集者が、主治医に自ら疑問を投げかけ、対話を重ねる。体験と知識に裏付けされたその問いかけに、医師も丁寧かつ率直に応じる。対話を重ねていくなかで、患者の体験本や指南書にありがちな、医療者と患者の間の微妙なずれが解消されていく。うつの入口にいる人にも、長年悩んでいる人にも、家族にも、必ずや有益な、ありそうでなかったタイプのうつ病関連本。

仙人と妄想デートする 看護の現象学と自由の哲学

村上靖彦＝著

定価 2484 円（本体 2300 円＋税 8％）

人文書院 ☎ 075-603-1344



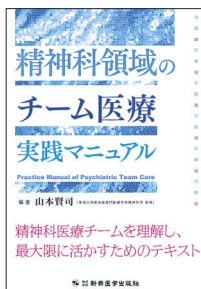
精神病理学・精神分析学の研究者が、看護師の語りを通して見た新たな哲学。本書のタイトルは、ある統合失調症患者と看護師とのかわり合いを表している。医療の現場で、看護師だからこそ持ちうる自由、状況に応じてフレキシブルに変化する実践を、豊かにあぶり出している。

精神科領域のチーム医療実践マニュアル

山本賢司＝編著

定価 3564 円（本体 3300 円＋税 8％）

新興医学出版社 ☎ 03-3816-2853



精神科チーム医療とはどういうものなのか。精神科病院、クリニックのデイケア、リワークプログラム、総合病院での精神科リエゾンチーム、緩和ケアチーム、救命救急センターでの精神科医療チーム、認知症地域支援チームという7つの領域におけるチーム医療のあり方を解説している。

精神障がい者家族 相談事例集

全国精神保健福祉社会連合会＝編

定価 1080 円（みんなねっとHPからのみ購入可）

全国精神保健福祉社会連合会（みんなねっと）☎ 03-6907-9211



日常生活、医療、家族会、家族依存、地域連携、親亡き後、制度という7つの章に分けて、精神障害者本人と家族から提示された32事例について、家族相談員がコメントする。家族相談員とは、同じ立場の家族が、孤立しがちな精神障害者家族の相談にのり、地域につなげる役割を持つ人のことである。

概念分析の社会学2

実践の社会的論理

酒井泰斗、浦野茂、前田泰樹、中村和生、小宮友根＝編

定価 3456 円（本体 3200 円＋税 8％）

ナカニシヤ出版冬舎 ☎ 075-723-0111



社会生活における多種多様な実践を編み上げる方法、概念を分析するのがエスノメソドロジー。本書はその視点から、医療、司法、教育、ビジネス、スポーツなど多領域に切り込む。特に障害と社会の関係を論じた第1章「神経多様性の戦術」は読み応えがある。